

遺作として家族に 大切に伝えます

2期 (故) ^{きのした}木下 ^{のりやす}憲保氏 奥様 ^{やすよ}安代様

若葉の輝きに満ちる季節になりました。

この度立派な記念誌を頂きまして、皆様に変
ご苦勞お掛け致しました事を心より感謝申しあ
げます。早速仏前に置き報告いたしました。誇

り高き母校の校旗を持たせていただきました事
など聞いていましたが改めて嬉しく思っていま
す。苦勞と喜びの人生を歩んでこられたことに
感慨深い思いでございます。

この後も遺作として家族に大切に伝えていき
たいと願っています。

皆々様のお手許に見ていただけます事は大変
幸福に思います。末筆乍ら主人に代わり感謝と
皆々様のご多幸をお祈り申し上げます。